

# 環境影響評価マニュアルの改訂概要について

## ～ 人と自然との豊かな触れ合い・環境負荷分野～

### 1. マニュアルの目的と改訂

「宮城県環境影響評価マニュアル」は、環境影響評価条例で規定する技術指針を具体的に解説するものであり、環境影響評価制度の効果的な運用を図るために作成したものである。

本マニュアルは環境影響評価条例の施行に合わせ、平成10年度に策定され、その後は新たな知見や技術手法などが提示されてきたことから、順次「環境要素」等の分類別に改訂を行い内容の充実を図ってきた。

### 2. 環境影響評価マニュアル経緯

年度	環境影響評価マニュアル名	備考
H11	宮城県環境影響評価マニュアル	策定
H13	動物・植物・生態系	改訂
H14	公害質(騒音・振動・大気汚染・水質汚濁など)	改訂
H15	事後調査	改訂
H16	人と自然との豊かな触れ合い・環境負荷分野	改訂
H17	環境保全措置	改訂
H18	方法書	改訂
H19	準備書・評価書	改訂
H20	動物・植物・生態系	(H13版)改訂
H21	大気・水・土壌その他の環境 [公害質(騒音・振動・大気汚染・水質汚濁など)]	(H14版)改訂
H22	人と自然との豊かな触れ合い・環境負荷分野	(H16版)改訂

「H19.4技術指針の改正」に伴う対応は、H18以降の改訂で対応  
現在は、7つのマニュアルで運用されている。

### 3. 本編及び資料編の改訂

(1) 環境要素別の構成から調査作業手順の構成に変更

(2) H19.4.2技術指針に係る変更

- ・事業特性及び地域特性の把握
- ・調査の手法
- ・予測の手法
- ・検討結果の整理

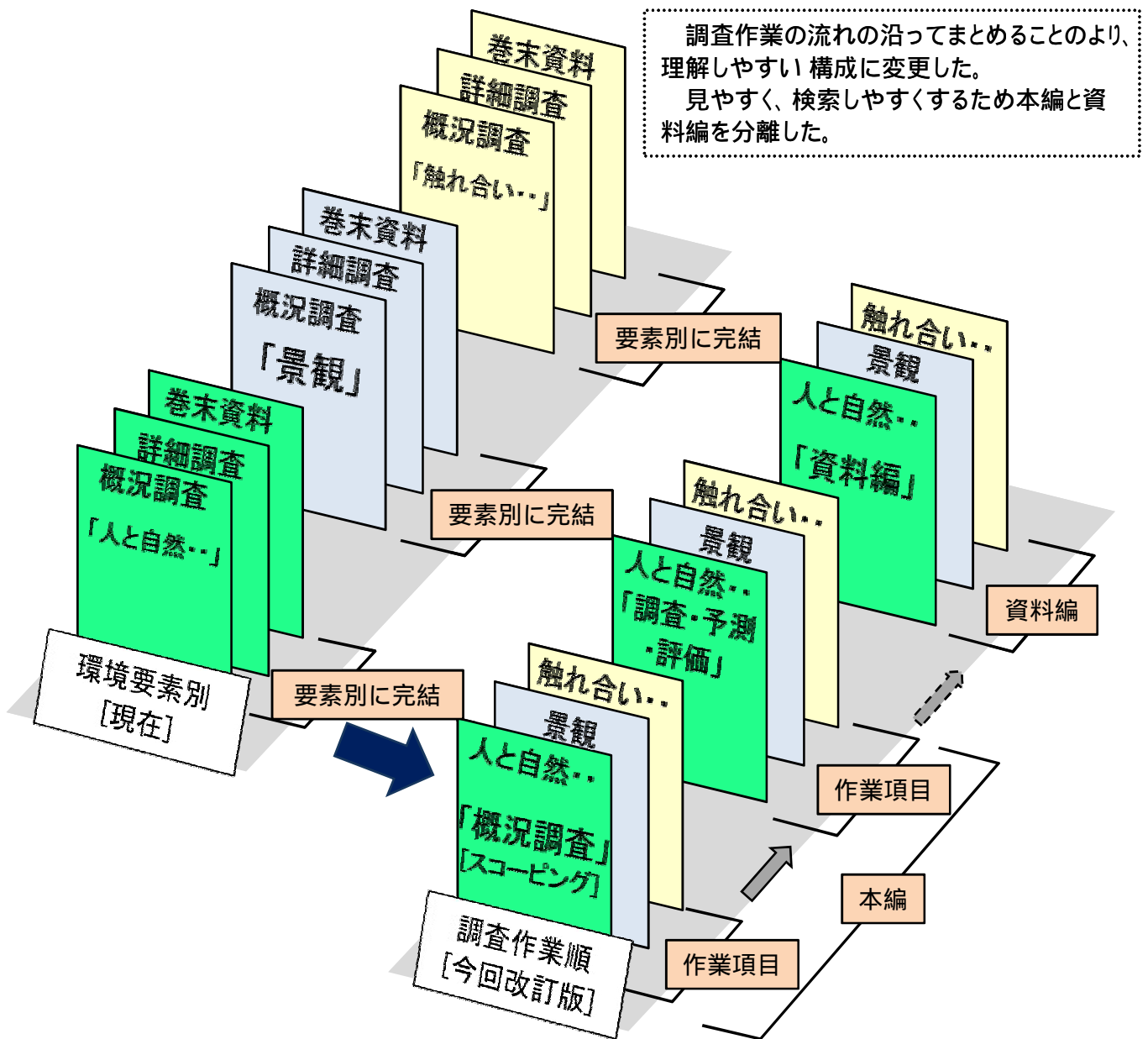
(3) 景観及び触れ合い活動の場

- ・里地里山保全活用行動計画(案)を参考文献として加える。

(4) その他 参考文献の更新

#### 4. マニュアル構成の変更

「人と自然との豊かな触れ合い」の構成を変更すると下記ようになります。



#### 5. マニュアル改訂スケジュール

時 期	内 容
平成22年10月29日	第1回マニュアル検討部会開催(素案説明)
～11月20日まで	素案に対する意見聴取
～12月上旬まで	修正案作成
12月中旬	第2回マニュアル検討部会開催(修正案説明及び最終案確定)
平成23年1月	製本原稿作成、ホームページへの掲載

改訂内容が軽微である場合は、第2回の検討部会の開催しない場合があります。